心も体もたくましく　みんなで幸せ　東根小

校長　笹原　良子

新入生72名を迎え、今年度の東根小全校生は485名。教職員は、私を含めた12名の転入があり42名となりました。1年生の入学、2年生から6年生までの進級を祝うかのように、学校の周りの桜がぐんぐん花開き、人々の笑顔もほころぶ中、令和5年度の東根小学校がスタートしました。

その子どもたちとの出会いの日に、今年度の東根小が目指すこととして「心も体もたくましくみんなで幸せ東根小」について話をしました。このことは、もちろん教職員とも共有し、各教育活動をここにつなげられるようにアイディアを出し合っていくことにしています。「心も体もたくましく」は東根小の学校教育目標です。コロナの流行やデジタル化の急速な進展などのように、これからの子どもたちが生きていく社会は、本当に予測困難と言われています。その社会を生きぬくためにも「心と体のたくましさ」をしっかり育むことは、その子その子の確かな軸をつくることにつながります。そして、さらに子どもたちはもちろん、教職員、保護者・地域の皆様、東根小に集う人々が幸せを感じることのできる日々をみんなで創りだしていきたいと願い、【「自分で」「仲間と」今と未来を幸せに生きる力を育む】それを今年度の東根小は目指していきます。そのために、「自分で」「仲間と」学んで、しっかり考え判断し行動できるように、さらに、お互いを大切にし、その違いを認め合って、力を高め合えるように学校生活を充実させて、目指す子ども像にある「凛とした姿」につなげたいと考えています。

今年度は、ポストコロナとも言われ、社会の対応もさらに変化していきます。コロナの危機が完全になくなったわけではない中で教育活動を進めていくのですし、3年間のコロナ禍の中で見直されたことが、よりよい工夫になっていることもあります。ですから、全てをコロナ以前に戻すというよりも「今だからこそできる東根小の教育とはどんなことなのか」を日々教職員で検討しながら展開していきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

私たちが、コロナ対応などに追われていた中でも、東根小のシンボルである「大けやき」は、変わらずその姿を悠然と示してくれています。一方で、季節に応じて葉を色づかせ、1500年を超える命をつないでいます。この大けやきのもとで東根小の子どもたちは育つのです。「何があっても変わらない人としての大事なことを育むこと、刻々と変化する時代に必要な力を確かに蓄えること。この両方を大事にしていくんだよ。」と大けやきが示してくれているようにも感じます。

大けやきを日々仰ぎ見ながら、教職員一同、保護者・地域の皆様と共に東根小の子どもたちの成長を支えてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。